

表紙エッセイ <b>忘れがたき日本語の基礎</b> ピーター・バラカン(ブロードキャスター)	Essay My Authentic "British" Japanese Peter Barakan (Broadcaster)
<b>読者から</b>	From Our Readers
教育実践レポート⑮ナショナルスタンダードズ <b>スタンダードズに基づいた小学校での日本語教育</b> ジュンコ・ハナイ・アゲナ(米国・アイナハイナ小学校 プログラムコーディネーター/日本語教師)	Japanese Language Teaching Around the World ⑮ National Standards Standards-Based Japanese-Language Education in Elementary School Junko Hanai Akena (Program Coordinator/Japanese Language Teacher, Aina Haina Elementary School)
国際交流基金主催 海外日本語教育シンポジウム <b>初等・中等教育レベルの日本語教師に対する研修</b> 国際交流基金日本研究部企画開発課	International Symposium on Overseas Japanese-Language Education Training for Japanese-Language Teachers of Primary & Secondary Schools
中・上級 新聞・雑誌から見る現代日本 <b>第7回 「調査捕鯨」</b> 本コーナーは著作権の関係でホームページへの掲載ができません。	Intermediate and advanced Aspect of Japan Today in the Newspaper and Magazine Scientific Research Whaling (This article is prohibited to appear on the web sight by copyright holder.)
初・中級 写真で見る日本人の生活 <b>正月</b>	Beginning and intermediate Japanese Life As Seen in Photographs New Year's Day
日本語・日本語教育を研究する <b>第15回 アクション・リサーチ</b> 横溝紳一郎(広島大学教育学部助教授)	Research on the Japanese Language & the Japanese Language Education Action Research Shin'ichiro Yokomizo( Associate Professor, Faculty of Education, Hiroshima University)
初・中級 授業のヒント <b>俳句を作りましょう</b>	Beginning and intermediate Ideas for Japanese-Language Classrooms Let's Compose a Haiku
<b>本ばこ</b> (新刊教材・図書紹介)	Book Shelf : Introduction of New Titles
<b>海外日本語教育Q&amp;A</b>	Overseas Japanese-Language Education Q&A
<b>ニュース・編集部から</b>	Miscellaneous News・From the Editors

マークは、読者が教えている生徒のレベルを示します。

mark indicates the level of students whom readers are teaching

### 読者から

私は、マンガレーYMCAが作ったHitoセンターという機関で、今年の4月から日本語教師として働いています。1997年の設立当初は、アシスタントとしてかかわっておりました。

『海外の日本語教育の現状』や『日本語教育通信』を送っていただき、ありがとうございました。興味深く読ませていただきました。また、日本からの郵便物は、精神的にも励まされますので、大変感激いたしました。

「人」センターは、設立からまだ3年しか過ぎておりませんので、不十分なところも多く、手さぐりで日本語教育をすすめている所です。お手数ですが、これからも引き続き上記のような冊子があれば、お送りさせていただきます

よう、よろしく願い申し上げます。

マンガレー Hito Center, YMCA

マンガレー 吉川 由里子

●お手紙は編集部で要約・編集して掲載しました。

#### 表紙エッセイプロフィール

ピーター・バラカン (Peter Barakan)

英国ロンドン生まれ。'70年代半ばの来日後、音楽出版社勤務を経て、'80年代に入り、放送での仕事や執筆活動を始める。'84年の「ポップーズMTV」では既存の音楽番組とは違う切り口で、耳目を集める。音楽への造詣の深さはジャンルを問わず、著作物も多い。活躍の場は音楽番組にとどまらず、'88年から「CBSドキュメント」の司会をつとめている。